

2017(仏暦2560)年 夏(7月)号 (第103号)

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行

浄土真宗本願寺派
万行寺 山崎信充

〒385-0003

長野県佐久市下平尾461-1

電話 0267-67-2460



■住職法話

ありのままに、ひたむきに

■浄土真宗 ◎仏事のイロハ

■本願寺の本

お盆 (2017)

■お知らせ、編集後記

Photo

お寺周辺は佐久市の平根地区といえます。この辺りは桃源郷があり、桃の産地として有名です。8月になると盛んに出荷が始まります。今年の出来はどうでしょうか。

住職 法話

ありのままに、ひたむきに



歌舞伎の市川海老蔵さんの妻、麻央さんの死は、全国民が悲しみにつつまれました。

三十四歳、幼い子を遺して往かれたことは、何とも言いようがありません。話題になつたブログ（日記）に、闘病中のありのままの姿を見せること

によって、多くの方が力をもらい勇気づけられました。ところで、「人生は一度きり」という言葉があります。

年を重ね、度々自分のこととしてズシンと重く感じるものが多くなってきました。若い頃、突き進んでいた時代を思い起こしながら、前よりも身近に感じられます。特に、僧侶として人の死に関わること

が多いと余計です。ですから、病から自らの死を宣告される方は、なおさらなのでしょう。

麻央さんが、英BBCで「今年の百人の女性」に選ばれ、寄稿した文章の言葉です。

「人の死は、病気であるかに関わらず、いつ訪れるかわかりません。例えば、私が今死んだら、人はどう思うでしょうか。『まだ三十四歳の若さ

で可哀想に』『小さな子供を残して可哀想に』でしょうか。私は、そんなふうには思われたくありません。なぜなら、病気になったことが私の人生を代表する出来事ではないからです。私の人生は、夢を叶え、時に苦しみもがき、愛す

る人に出会い、二人の宝物を授かり、家族に愛され、愛した、色どり豊かな人生だからです。だから、与えられた時間を、病気の色だけに支配されることはやめました。なり

たい自分になる。人生をより色どり豊かなものにするために。だって、人生は一度きりだから」

人のこころに響く輝いた言葉でもありました。

この度、代を継がれた本願寺の大谷光淳ご門主、初の著書『ありのままに、ひたむきに』の中からです。「好ましくないこと、特に老いる、病気になる、死ぬということを避けることはできま

せん。そのことを、プラスやマイナスとしてとらえるのではなく、ただありのままに受け容れていく。しかし、それは非常に難しく、なかなかできることではありません。自己中心的なとらわれの心でこの世界を見るから苦しみが生じるのであり、お釈迦さまは『如実』、つまり世界をありのままに見なさいと言われて

います。」

麻央さんは、この「如実」のさとりをもって往かれたのでしよう。しかし、どうしても、若くて子どもを残して可哀想にと思ってしまうのは、まだ私にとらわれの心があるからなのでしょう。

浄土真宗

④ 仏事 の イロハ

一、お仏壇のお飾り

— 仏さまを仰ぐ —

「ご本尊は本山から」

お仏壇にもさまざまなお仏壇があります

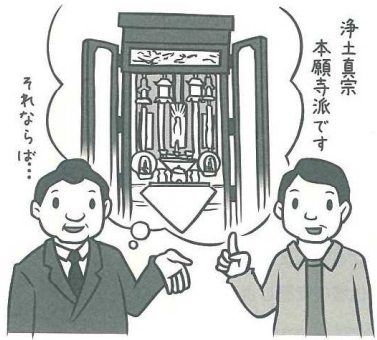
お仏壇と言えば、箱型で扉の付いたお仏壇を思い浮かべますが、日本建築の床の間も「ご本尊の仏さまを安置すればお仏壇になります。」

それはそれとして、一般的な箱型仏壇を見てみると、代表的なものは次の二タイプです。

- ①金仏壇 Ⅱ 木地に漆をぬり、さらに金箔を押ししたもの
- ②唐木仏壇 Ⅱ 黒檀や紫檀、桜、桑などの木地をそのまま生か

したものと

金仏壇は、伝統的に浄土真宗のお仏壇として用いられてきました。金色に輝く浄土をイメージしたのですが、宗派によって構造が異なります。たとえば浄土真宗本願寺派（本派・西本願寺）と真宗大谷派（大派・東本願寺）とでは、宮殿の屋根（本派は単層、大派は重層）や柱（本派は金箔、大派は黒漆）などに違いがあります。お求めになる時は、必ずご自分の宗派をお仏壇店に告げてください。



唐木仏壇は、各宗派共通のものが多いのですが、それでも浄土真宗のご本尊は縦長です。

ので、安置するスペースもそれに合った縦長のものを選んでください。正面の三つのスペースがほぼ均等なのがいでしょう。

これらのタイプには、台付型と上置型があります。置く所に合わせて選んでください。

第三のタイプとして家具調仏壇があります。現代仏壇などとも呼ばれています。今風のおしゃれな造りになっているのですが、できることなら、宗派で用いる三具足（ローソク立て・香炉・花瓶）の基本を崩さず、また余分な仏具は買わないようにしましょう。何が必要で何が不要でないかは、本書を読まれるなり、手

次ぎのお寺にお尋ねください。

お仏壇購入にあたって注意することは、「ご本尊は本山（西本願寺）に一定額（冥加金といいますが）を納めて、お迎えする」ということです。お仏壇が決まると、そのご本尊の大きさを仏壇店にお尋ねください。それから、その大きさと表装の仕様を、手次ぎのお寺に告げて本山からお迎えしてください。

ポイント

- ▼お仏壇を求める時は宗派名（浄土真宗本願寺派）をはっきり
- ▼ご本尊は、本山からお迎える

「浄土真宗 ④ 仏事 の イロハ」 末本弘然著／本願寺出版社刊より」

～本願寺の本～

『お盆(2017)』

南荘宏/片山みどり/金澤豊 著
本願寺出版社 刊 108円(税込)



2017年お盆の施本。

3名の著者が、お盆を迎えそれぞれの味わいを綴る。

- 阿弥陀さまのほほえみ（南荘宏/合唱指揮者）
- 受け継がれてゆく大切ないのち（片山みどり/仏教婦人会総連盟会長）
- サマージャム'17（金澤豊/龍谷大学世界仏教文化研究センター博士研究員）

[本願寺出版社ホームページより]

毎年、季節ごとの施本も本願寺から出版されています。お求めやすく読みやすい内容でおおすすめです。

万行寺門信徒会会員の皆様へ

万行寺は皆様の会費によって支えられています。本年度分を早速に納めていただき、誠に有難うございました。本年度分の本山と長野教区への賦課金納入にあてます。ご案内を差し上げておりますが、まだ未納の方におかれましては、何卒、ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

編集後記

「仏事のイロハ」は、今回も仏壇のことにふれていきます。どなたも仏壇選びは悩むことだと思われれます。本書の内容をそのまま写してあるため、専門的な用語もあります。たとえば「手次ぎ」とは、所属するお寺（万行寺）のことです。おわかりにならない点は、気軽に住職にお尋ねください。◆八月はお盆の時期です。お墓参りなど、仏事にお会いすることが多くなります。故人方々のお姿を思い起こしながら、仏さまの教えに少しでもふられる機会にしたいものです。

